資料６

計画の点検・見直しの主な視点

計画の点検・見直しの主な視点

１．目標の妥当性

・新エネの発電設備容量等は増加傾向にあるものの、新エネを最大限活用するためには、一層の取組が必要

・省エネのエネルギー消費原単位は概ね減少傾向にあるが、コロナの影響等もあり、各部門毎に進捗度合いに差がある

・目標達成に向けては、一層の取組が必要な状況

２．施策や取組の方向性

計画推進の基本的な考え方に沿って、国の政策動向や道内情勢の進展等を踏まえ、施策や取組に反映

（１）国の政策動向

・再エネの最大限導入 ・地域との共生・国民負担の抑制・長期安定電源化

・徹底した省エネルギー・地域での省エネ支援体制の充実

・地域間連系線の整備・蓄電池の導入等

・ペロブスカイト太陽電池等導入拡大・次世代型地熱の社会実装加速化

・水素等次世代エネルギーの確保・供給体制の構築

計画の点検・見直しの主な視点

（２）道内の情勢

・道内のプロジェクト

８つのGXプロジェクト（洋上風力、データセンター、水素等）

・道の取組

北海道金融・資産運用特区

北海道ＧＸ推進税制 ・北海道GX地域未来投資促進基本計画

企業立地促進制度

（３）地域との共生

自然環境や景観との調和を図ることを前提に、地域のご理解のもとで、地域と共生した適切な再エネ導入を促進

（４）その他

・地域のモデルとなる事業や新技術導入の取組等、優良事例の紹介　等